



会 社 案 内

日本ビー・エー・シー株式会社

<https://bacj.co.jp/>

日本ビー・エー・シーは、冷熱システム分野のあらゆる場面で社会貢献しています

氷蓄熱装置のトップメーカー

日本ビー・エー・シー株式会社は、BALTIMORE AIRCOIL COMPANY, INC. (本社；米国メリーランド州) と新晃工業株式会社の共同出資により設立されました。

BALTIMORE AIRCOIL社は1938年の設立以来、蒸発式冷却装置（密閉式冷却塔、開放式冷却塔、蒸発式凝縮器）、氷蓄熱装置の専門メーカーとして長年の実績と高い技術力を誇る業界トップの国際企業であります。

日本ビー・エー・シー株式会社は BALTIMORE AIRCOIL 社の豊富な経験と高い技術力を生かし、氷蓄熱装置の国内トップメーカーとして省エネルギー無公害時代における産業の発展と生活文化の向上に資すべく絶えず努力を続けてまいります。

地球温暖化問題に対する社会貢献

地球温暖化問題は、日本ならびに世界にとって未来永劫に続く課題であり地球環境を守るためには、温室効果ガス削減の可能性を追い続けることが重要となっています。

日本ビー・エー・シー株式会社の氷蓄熱装置は、火力発電所等の化石燃料比率が低い夜間電力にて氷蓄熱槽内に水を蓄え、昼間の冷却負荷に対応させるため、CO₂の削減効率が非常に大きく、温室効果ガス削減対策のひとつとして社会貢献に大きな役割を果たすことができます。



■ 会社概要

商 号	日本ビー・エー・シー株式会社 BAC JAPAN CO., LTD.
設立年月日	1976 年（昭和 51 年）12 月 5 日
代表取締役社長	平石 忠孝
資 本 金	3 億円
事 業 内 容	氷蓄熱装置、密閉式冷却塔、開放式冷却塔、 蒸発式凝縮器（エバコン）、 熱交換器および関連製品の製造ならびに販売等
取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行 京橋支店 三菱東京UFJ銀行 室町支店 みずほ銀行 銀座支店 三井住友銀行 日比谷支店 三井住友銀行 本店営業部
事業所	本社 大阪事務所 広島事務所 九州事務所

■ 沿 革

1938 年（昭和 13 年）	BALTIMORE AIRCOIL 社設立
1974 年（昭和 49 年）	新晃工業株式会社による輸入販売
1976 年（昭和 51 年）	日本ビー・エー・シー株式会社設立
1977 年（昭和 52 年）	神奈川県秦野市に本社工場完成 密閉式冷却塔の国産一号機納入
1984 年（昭和 59 年）	外融式アイスチラー®氷蓄熱ユニットの 国産一号機納入
1986 年（昭和 61 年）	製造を新晃空調工業株式会社へ委託
1993 年（平成 5 年）	東京都世田谷区に本社社屋完成
1998 年（平成 10 年）	内融式アイスチラー®氷蓄熱ユニットの 国産一号機納入
2002 年（平成 14 年）	蓄熱システムの普及拡大への貢献に対して 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター より表彰を受ける
2008 年（平成 20 年）	省エネルギー、環境保全への貢献に対して 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター より表彰を受ける
2009 年（平成 21 年）	最先端のシステムを導入した国内最大級の 氷蓄熱システム実験設備を製品製造工場 （神奈川県秦野市）に構築
2016 年（平成 28 年）	日本ビー・エー・シー株式会社設立 40 周年
2019 年（令和 元年）	CO ₂ アイスチラー（株式会社前川製作所との 共同開発品）が“令和元年度 デマンドサイド マネジメント表彰（一般財団法人ヒートポン プ・蓄熱センター主催）”の「一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞」を受賞
2020 年（令和 2 年）	新晃工業株式会社と新晃空調工業株式会 社の合併により、製品製造工場の社名が新晃 工業株式会社へ変更



製品製造工場：新晃工業株式会社 神奈川工場

冷熱システム分野での貢献

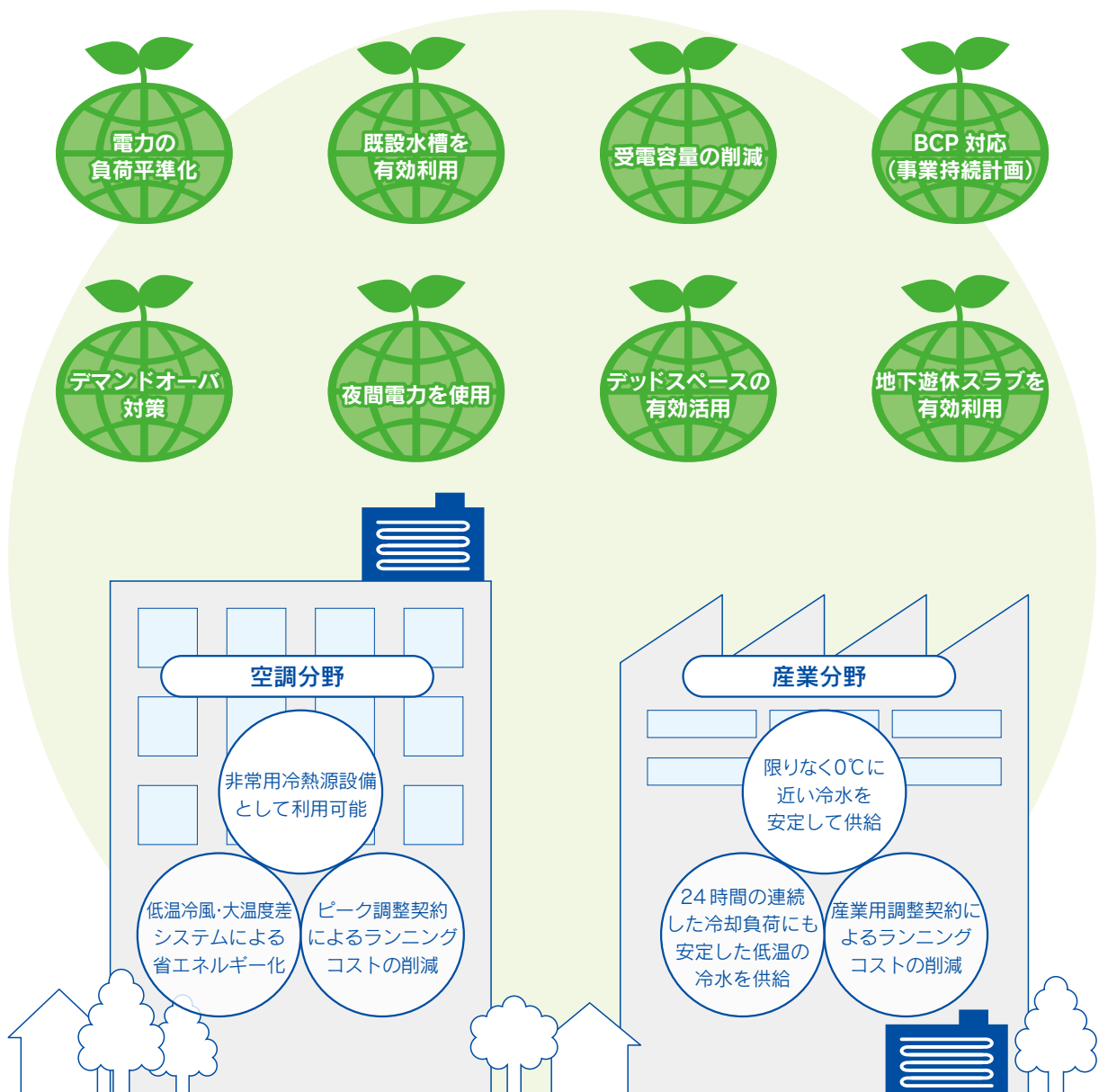
氷蓄熱システムによる冷熱システム分野での貢献

ビル・工場の空調および食品・製品のプロセス冷却等、社会のあらゆる場面で冷熱は必要とされています。氷蓄熱システムは、氷の融解により得られる冷熱を利用するため、冷却負荷の急激な変動にも常に安定した低温の冷水を供給することができます。

さらに、火力発電所等の化石燃料比率が低い夜間電力を利用し、氷蓄熱槽内に氷を蓄えるため、ランニングコストや受電容量の削減が可能となります。

日本ビー・エー・シー株式会社では、トップメーカーとしての実績から得られた様々な経験より、氷蓄熱システムをより有効に活用するためのご提案をさせていただきます。

氷蓄熱システムの大きなメリット



技術力および品質のさらなる向上

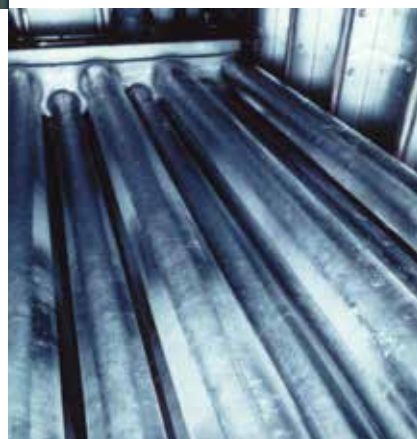
製品製造工場（神奈川県秦野市）に構築した氷蓄熱システム実験設備は、氷蓄熱装置単体での性能検証はもちろんのこと、1次側の機器を含めた氷蓄熱システム全体としての性能検証が可能である国内最大級の実験設備です。

この氷蓄熱システム実験設備にて、多種多様な運転方法での冷水温度特性やエネルギー消費量の効率化の検証、氷蓄熱装置の破壊実験等を行い、氷蓄熱装置の性能、品質、省エネルギー性のさらなる向上に日々努めています。



アイスチラー®氷蓄熱システム実験設備

内融式および外融式の氷蓄熱槽を有する国内最大級の氷蓄熱システム実験設備。
写真左の中央監視室より各機器への運転指令が可能。



氷蓄熱槽内の着氷状態

夜間電力にて氷蓄熱槽内に氷を蓄え、
昼間の冷却負荷に対応。



完成前の製品群

氷蓄熱装置は設置スペースに合わせた自由な設計が可能。



長年の経験による確かな品質

日本ビー・エー・シー株式会社は、氷蓄熱装置、密閉式冷却塔、開放式冷却塔、蒸発式凝縮器の専門メーカーであるBALTIMORE AIRCOIL社が持つ長年の実績と高い技術力をベースとしています。

さらに、氷蓄熱装置の国内トップメーカーとしての実績から得られた様々な経験を基に製品および技術力のさらなる向上に努めています。

■ アイスチラー®氷蓄熱ユニット

- 鋼板製蓄熱槽内にコイルを収納した一体型タイプ
- 現場築造型の FRP 製蓄熱槽での製作も可能
- R410A、CO₂等の各種冷媒に対応可能



内融式アイスチラー®氷蓄熱ユニット



外融式アイスチラー®氷蓄熱ユニット



FRP 製アイスチラー®氷蓄熱槽

■ アイスチラー®氷蓄熱コイル

- 地下ピット等の遊休スペースを有効に利用
- 設置スペースに応じてコイルの形状変更、段積みが可能
- R410A、CO₂等の各種冷媒に対応可能



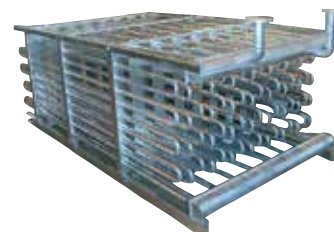
内融式アイスチラー®氷蓄熱コイル



外融式アイスチラー®氷蓄熱コイル

■ 現場組立型アイスチラー®氷蓄熱コイル

- 既設水槽の氷蓄熱槽への改修が可能
- 搬入経路の著しい制約に対応



現場組立型アイスチラー®氷蓄熱コイル

■ 密閉式冷却塔

- シロツコファン押込通風型カウンターフロー方式
- 屋外や屋内にコンパクトに設置が可能
- 設置高さの制限に対応するための VFL 型も用意



VXI 型密閉式冷却塔

■ 開放式冷却塔

- シロツコファン押込通風型カウンターフロー方式
- 屋外や屋内にコンパクトに設置が可能
- 設置高さの制限に対応するための VTL 型も用意



VXT 型開放式冷却塔

■ 蒸発式凝縮器（エバコン）

- シロツコファン押込通風型カウンターフロー方式
- 屋外や屋内にコンパクトに設置が可能
- 設置高さの制限に対応するための VCL 型も用意



VXC 型蒸発式凝縮器（エバコン）

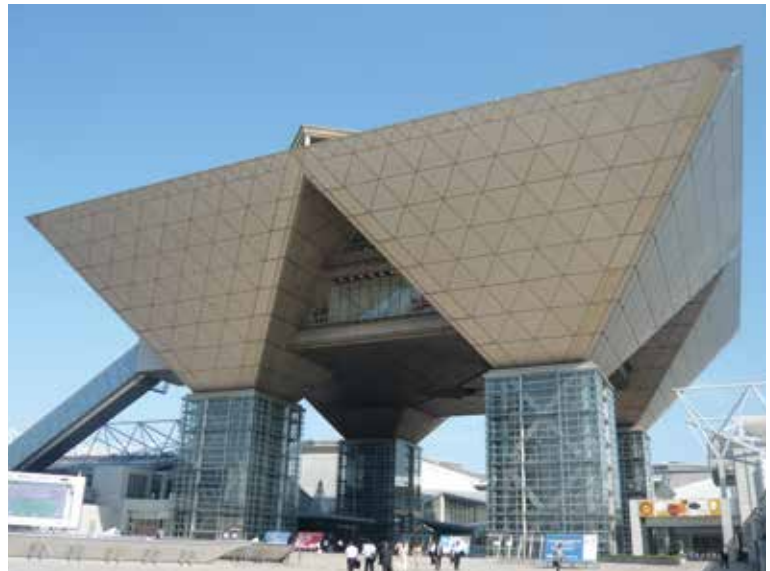
実績

トップメーカーとしての裏付け

現在の空調分野では一般的な機器となっている密閉式冷却塔、氷蓄熱装置の販売を国内にて開始して以来、国内トップメーカーとしての信頼を様々なお客様から頂き、日本ビー・エー・シー株式会社の製品が日本各地で活躍しています。



京阪くずはモール 殿



有明南管理事務所 殿



呉海事博物館 大和ミュージアム 殿



北九州空港旅客ターミナル 殿

主な実績

事務所・行政施設

- 東京電力株式会社 技術開発センター 殿
- 神戸関電ビル 殿
- 中国電力株式会社 小町 1 号館 殿
- 福岡銀行新本部ビル 殿
- 東大阪市総合庁舎 殿
- 堺市庁舎本館 殿
- 毎日新聞ビル 殿

産業施設

- 本田技研工業株式会社 埼玉製作所 殿
- 共進牧場株式会社 浄谷工場 殿
- 昭和電工株式会社 千葉工場 殿
- 大塚製薬工業株式会社 高崎工場 殿
- 白牡丹酒造株式会社 殿

複合施設

- 丸の内トラストタワー本館 殿
- 大阪駅前第 2 ビル 殿
- 東京汐留ビルディング 殿
- グラントウキョウノースタワー 殿
- 大阪ターミナルビル 殿
- 博多リバレイン 殿

商業施設

- イオン与野ショッピングセンター 殿
- アリオ八尾 殿
- トキハわさだ新都心センター 殿
- イオン越谷レイクタウン「KAZE」 殿
- 京阪くずはモール 殿
- 玉川高島屋ショッピングセンター 南館 殿

地域熱源施設

- 新宿南口西地区地域冷暖房施設 殿
- りんくうタウン熱供給センター 殿
- コスモスクエア熱供給事業 殿

医療・輸送・展示等施設

- 市立岸和田市民病院 殿
- 鳥取県立厚生病院 殿
- 香川県県民ホール 殿
- 京阪中之島新線
なにわ橋駅・大江橋駅
渡辺橋駅・中之島駅 殿
- 神戸赤十字病院 殿



日本ビー・エー・シー株式会社

BAC JAPAN CO., LTD.

- | | | |
|---------|-------------------------------------|---|
| ■ 本社 | 〒154-0014 東京都世田谷区新町 2-27-4 | TEL (03)5450-6161 / FAX (03)5450-6166 |
| ■ 大阪事務所 | 〒530-0047 大阪市北区西天満 4-3-18 MF 西天満ビル | TEL (06)6315-6310 / FAX (06)6315-6277 |
| ■ 広島事務所 | 〒730-0012 広島市中区上八丁堀 8-20 上八丁堀井上ビル | TEL (082) 223-8998 / FAX (082) 223-8980 |
| ■ 九州事務所 | 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町 5-35 福岡祇園第一生命ビル | TEL (092)262-7691 / FAX (092)262-7692 |